



## 安野光雅さん、永遠に

昨年のクリスマスイブにお亡くなりになった安野光雅さん。画家として、絵本作家としてたくさんの作品を残されました。『絵本作家のアトリエ』というインタビューで「子どもたちにはもっと本を読んでほしい、自分で考える癖をつけてほしい」とおっしゃっていました。安野さんの作られた絵本は、大人のわたしたちも頭を使って五感を研ぎ澄ませて楽しまないと「うっ？」って考えさせられる作品が多い。でもユーモアのセンスも持ち合わされていて、このインタビューの最後に「考える人が減ってしまうと、僕の絵本をわからない人が増えちゃうからね～」と。そんな安野さんを今月のテーマにしたいと思います。

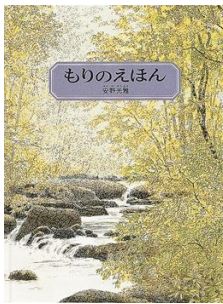
### ★にこにこ、笑顔★

#### 『にこにこ かぼちゃ』 童話屋



かぼちゃが主役かと思いきや、野菜、果物がたくさん出てきます。裏表紙にはニコニコ顔と困った顔の野菜や果物に変身できるように、透明シートが入っています。そのシートをそれぞれの野菜、果物にあてると、かわいい野菜、果物の出来上がり！ニコニコ顔は安野さんの笑顔に見えなくもない・・・それくらい笑顔のすてきな安野さんでした。

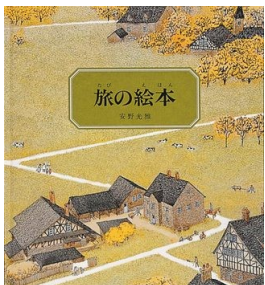
### ★そこにいるのはだれ～だ★



#### 『もりのえほん』 福音館書店

ページを開くと、そこには深～い森が広がっています。緑豊かな森のあちらこちらに色々な生き物が隠れています。見事な隠し絵で探すのは、結構大変かもしれません。なんととっても130くらいの生き物が表紙から隠れています。さて、あなたはどれだけ探せるかしら？

### ★旅に出かけたい★



#### 『旅の絵本』シリーズ 福音館書店

この作品は9冊のシリーズです。画像は旅の絵本1の中部ヨーロッパです。

この作品もあちらこちらに隠し絵があるんです。「ほらほら、あかずきんちゃん、そんなところでお花を摘んでいたら・・・」という具合に物語の一場面や有名な絵画を風景に溶け込ませた作品です。コロナが収束したら、早く、旅に出たい！と思う風景が絵本を開くと広がります。